

01 開催概要

東部まちづくりワークショップとは、東部地域にお住まいの方、東部地域のまちづくりに興味のある方にご参加いただき、現在策定中の東部振興構想に繋がるアクションのアイデア創出の取組です。

全3回のワークショップを、中部大学の連携・協力のもと、小牧勤労センターで開催しました。今回は第3回（今年度最終回）の様子をお伝えします。

日時：2021年11月14日（日）
13:00～15:00

会場：小牧勤労センター

参加者数：31名



当日のプログラム

第3回 まちで深める
(アイデアを実現するには?)

- オリエンテーション
- 前回の振り返り
(アイデア具体化検討)
- OSTの実施
- 全体共有
- ふりかえり・総括

02 オリエンテーション

中部大学 磯部教授から開会に当たってご挨拶を頂きました。ゲームを使ったアイデア出しから、具体的に東部地域で進めていくプロジェクトを検討する段階に少しずつ進んでいることのほか、審議会でのこれまでの議論の内容についても共有しました。



03 前回の振り返り（アイデア具体化検討）

前回実施したまちなか発想ゲーム「メイキット」の結果を見ながら、参加者の方が様々な主体と連携しながら具体的なプロジェクトを実施するためにはどんなことが必要か、どうすれば実現できるかについて話し合いました。



04 OST (オープンスペーステクノロジー：参加者発意によるプロジェクトづくり) の実施

OST (オープンスペーステクノロジー) は、参加者の熱意と責任感によって運営され、複雑な課題に対し、短時間で具体的な成果を出す方法として知られています。

東部地域の振興に関連することで、メイキットで発想されたアイデアや第1回、第2回が土台となりやってみようと思えた取組など、「皆さんと一緒に検討したいトピック(プロジェクト)」を、参加者ご自身に挙げて頂きました(下表)。

東部地域で様々な取組をされてきた方は勿論、今回のワークショップではじめて東部地域に触れた大学生からも積極的に立候補があり、参加者は興味があるトピックを選んでテーブルを囲み、実現の方策について議論しました。

アイデアの種類	参加者から挙げたトピック(プロジェクト)
A	メイキット関連アイデア 桃花台(東部地域)の良さを、外の人にアピールして、実感してもらいたいイベントを企画したい!
B	図書館を活用して地域の情報・魅力を発信して、つながってほしい!
C	飲食店・商店街が少ない。必要な商店を誘致したい!!
D	特産物(桃・ぶどう等)をつくる農家の後継者不足が課題。農家の皆さんと共にご工夫していくか考えてみたい!!
E	メイキット関連アイデア 交通が不便な東部地域。大学生で(ボランティアで車を運転するなど)アイデア出しをしたい!
F	メイキット関連アイデア 小牧市にまず来てもらいたい! 発信が必要で、どうやってきっかけをつくるか一緒に考えたい!
G	近隣の大学生と一緒にできることを考えたい!

それぞれのトピックごとに①取組内容、②取組むうえでの課題、③必要な手助けについて議論しました。ここではいくつかをピックアップしてご紹介します。

D：特産物(桃・ぶどう等)をつくる農家の後継者不足が課題。農家の皆さんと共にご工夫していくか考えてみたい!!

ぶどう農家7園での「直売」が知られていないのが課題です。地域の人と農家が交流する機会を作り、売れるきっかけを作るための具体的な取組として、農家と小学校のつながりを一層強めたり、花が咲いている時期に人に来てもらい、大学生と連携してSNS発信するなどの意見がでました。

▼グループごとの議論の様子



E：交通が不便な東部地域。大学生で(ボランティアで車を運転するなど)アイデア出しをしたい!

若者ができる手助けとして、市民のために車を使った手伝いがしたいとの声から生まれたトピックです。

利用者とボランティアをマッチングする仕組みの構築や、「タクシー代わり」になるだけという課題はありますが、大学や地域企業との連携により、どうしたら実現できるかの更なる検討が必要です。

会の最後には、全体に対してそれぞれの代表(言い出しっぺ)から、議論の共有を行っていただきました。

▼A～Gグループの全体発表の様子



05 ふりかえり・総括

沢山の東部地域の皆さんと、外部の大学生等の皆さんにご参加頂き、第1回、第2回で交流を深めながら、まちなか発想ゲーム「メイキット」も活用しながら、東部地域の魅力や課題について認識し、最終回の第3回で参加者自身が実際に取組みたいアイデアを具体化することまで繋げていくプロセスを共有してきました。

このアイデアの芽を市民や外部の皆さんの協力を得ながら、少しずつ育て実現させていくことで、東部地域の振興の実現に近づいていきます。

今年度のワークショップは一旦これで終了となりますが、次年度以降も具体的なアクションに続けていく取組を検討しています。

今回のワークショップには参加できなかったものの、興味を持ってくださった東部地域の皆さんにも、次回企画への積極的な参加をお待ちしています。

▼最後に参加者全員で集合写真撮影

